

開催日時	平成 24 年 1 月 25 日 (水) 17:38 ~18:40
開催場所	茨城県立中央病院 がんセンター大会議室
出席委員名	大谷幹伸、小島寛、中村浩徳、島田匡彦、石川忍、黒木淳子、三橋彰一、武安法之、大越靖、山内敦、多川英久雄、村上りつ子
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題① 大鵬薬品工業株式会社の依頼による、「プラチナ既治療非小細胞肺癌に対するティーエスワンとドセタキセルのランダム化比較第Ⅲ相試験」 国内で発生した重篤な副作用について治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題② キッセイ薬品工業株式会社の依頼による「前期第Ⅱ相臨床試験（2）」 について治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：修正の上承認</p> <p>議題③ ファイザー株式会社の依頼による「日本人アルツハイマー型認知症患者を対象とした ACC-001 の第Ⅱ相試験（2202 試験）」 治験薬との因果関係を否定し得ない重篤・未知の有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験実施体制の変更について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題④ ファイザー株式会社の依頼による「日本人アルツハイマー型認知症患者を対象とした ACC-001 の第Ⅱ相試験（2206 試験）」 治験薬との因果関係を否定し得ない重篤・未知の有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験実施体制の変更について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑤ ファイザー株式会社の依頼による「日本人アルツハイマー型認知症患者を対象とした ACC-001 の第Ⅱ相試験（2207 試験）」 治験薬との因果関係を否定し得ない重篤・未知の有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験実施体制の変更について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑥ 第一三共株式会社の依頼による「虚血性脳血管障害患者を対象とした CS-747S 第Ⅲ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験実施体制の変更について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑦ 第一三共株式会社の依頼による「急性冠症候群患者を対象とした CS-747S 第Ⅲ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験実施計画書の変更について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑧ 株式会社ヤクルト本社の依頼による「胃癌患者を対象とした L-OHP の第Ⅲ相試験」</p>

院内で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑨ アストラゼネカ株式会社の依頼による「CAM-3001 の第Ⅱ相試験」

国内および海外で発生した重篤な副作用について治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験実施計画書の変更について審議した。

審議結果：承認

議題⑩ 塩野義製薬株式会社の依頼による、「S-297995 の後期第 2 相臨床試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑪ 大鵬薬品工業株式会社の依頼による、「OVF のがん疼痛（突出痛）に対する第Ⅲ相比較試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑫ 協和発酵キリン株式会社の依頼による「KW-2246 第Ⅲ相臨床試験ーがん患者における突出痛に対するプラセボを対照とした二重盲検比較試験ー」

国内で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑬ 大鵬薬品工業株式会社の依頼による「TSU-68 の肝細胞癌に対する第Ⅲ相試験」

国内で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑭ アボット株式会社の依頼による、「進行肝細胞癌（HCC）患者を対象に、Linifanib (ABT-869) とソラフィニブの有効性及び忍容性を比較する非盲検無作為化第Ⅲ相試験」

開発の中止等に関する報告がなされた。

議題⑮ 小野薬品工業株式会社の依頼による「ONO-1101 後期第Ⅱ相/第Ⅲ相試験 心機能低下例における頻脈性不整脈患者を対象とした多施設共同単盲検無作為化並行群間比較試験」

治験実施体制の変更について審議した。

審議結果：承認